

「アジア諸語を主たる対象にした言語教育法と通言語的  
学習達成度評価法の総合的研究」  
— 中間報告書 (2012-2013) —

目 次

はしがき	富盛 伸夫	
<b>第一部：基礎研究</b>		
日本学術会議公開シンポジウム「学士課程教育における言語・文学分野の参照基準」 からみる日本の高等教育における言語教育の近未来像	富盛 伸夫	1
高等学校における複言語教育の現状・展望と大学教育との連携について	山崎 吉朗	11
CEFR の日本の外国語教育・日本語教育における応用	浜津 大輔	23
韓国の外国語教育及び外国語としての韓国語教育における CEFR 応用の現状に関する実態調査	ソ・アルム	39
アカデミック日本語教育におけるアカデミック・タスクの意義 —全学日本語プログラムでの実践を踏まえて—	藤森 弘子	51
CEFR のグローバル化と異文化間コミュニケーション能力の諸問題： Michael Byram and Lynne Parmenter (ed), <i>The Common European Framework of Reference</i> — <i>The Globalisation of Language Education Policy</i> — (Bristol, 2012) を読んで	富盛 伸夫	63
<b>第二部：調査報告</b>		
外国語としてのベトナム語概観	田原 洋樹	73
スペイン語教育とベトナム語教育	高垣 敏博	83
外国語としてのカンボジア語教育と能力測定に関する報告	上田 広美	89
韓国大学の韓国語教育における言語能力評価指標導入の現状	南 潤珍	97
<b>第三部：本研究プロジェクトの概要と研究活動等</b>		
「アジア諸語を主たる対象にした言語教育法と通言語的学習達成度評価法の総合的研究」 の目標、意義および成果 —2012 年～2013 年中間報告—	富盛 伸夫	109
<b>執筆者一覧</b>		